

神社の社(三十)

御嶽ヒジターセンター 片柳 茂生

そんな名前では呼ばないで!

日本の各地にその土地の方言が
ございますように、動物や植物ま
たは昆虫にまで、その土地々で呼
び方が違っているものも数多くご
ざいます。

御岳山には、冬になりますとル
リビタキという鳥が高い山から下
りて参ります。雄は綺麗な姿をし
ておりまして、頭から背中そして
尾にかけてが瑠璃色で脇腹にはオ
レンジのアクセントが付いており
ます。御岳山ではこの鳥のことを
なんと『バカッチョ』と呼んでお
ります。まったくもってかわいそ
うな呼び名で、ルリビタキにし
てみれば、「何でこんな変な名前
で呼ばれなきゃいけないんだ
ー」なんて怒っている
かもしれません。

また、やはり冬鳥でござ
いますが、黒い頭に羽
の白い紋が目立つジョウ
ビタキと言う鳥がおりま
す。その白い紋から『紋
付き鳥』なんて呼ばれも
います。この鳥のことを
『バカッチョ』と呼ん



でいる地方も多いようございま
す。ジョウビタキは尾を振りなが
ら「カッ」とか「ピッ」なんて声
を出しておりますので御岳山で
は『ヒツカチ』と呼んでおります。
どちらの鳥も、「人間を怖がる様
子もなく、近寄ってもなかなか逃
げない。馬鹿な鳥だ。」と言うよ
うな意味で呼んでいるようござ
います。

ある時、こんなことがございま
した。山の人たちが、登山者のた
めにと少しでも眺めが効くよう
に大勢で道普請をしておりまし
た。順調に作業

は進んでおりまして、さあ一休み
と言うわけで、どれだけはかど
つたか今まで作業してありました
ところを、振り返って確かめまし
た。青い鳥がすぐ後ろにいて、
土の掘れたところを何食わぬ顔
で餌を探しているではございま
せんか。5mと離れておりませ
ん。その後も少し進んで振り返
ると、やはりいるんですねルリ
ビタキが。全く人を怖いと思
われないんですね。こんなところ
が『バカッチョ』
なんです。

でもこの『バカッチョ』なん
ですが、怖いものもあるようで
して。畑の畦の杭にジョウビ
タキが止まっております。そこ
へ『バカッチョ』がやってき
まして畑で餌を探そうとして
おりますとジョウビ

タキが、「俺の縄張りに入
るんじゃない」と『バ
カッチョ』を追い回す
んですね。人は怖くなくて
も、ほんの少しだけ体の
大きいジョウビタキは怖
いみたいです。何はとも
あれ、御岳山の人はその
なルリビタキに親しみを
込めて『バカッチョ』と
呼んでいるんです。

表紙写真 鈴木 新吾

綾広の滝 (あやひろのたき)

深山に流れ落ちる幽玄な姿
は、やさしく愛でられ「山姫
の心をこめておりなせる布か
とぞおもふ綾広の滝」と詠ま
れました。また、時としては
修験の行場・禊の滝としての
荒々しい一面も併せ持ちます
心を癒し、時に鍛える。自然
の織なした美しさ・強さを感じ
るには当社より徒歩三十分
お歩きいただけます。

あとがき

元号が替わり平成になり早
くも二十年がたちます、神社
という所は歴史を重んじる場
所であるがゆえに我々は昭和
の組織と現代との狭間で日々
考えさせられています。西分
御嶽講元長の長谷川様、ビ
ジャーセンター片柳様には、玉
稿をありがとうございました。

平成二十年三月八日発行

〔年二回発行・非売品〕

編集 武蔵御嶽神社

TEL 049-6(七) 八五〇〇

FAX 049-6(七) 九七二

印刷 (株)成和印刷